独占スクープ

未来世界で展開



PSにまた新たな対戦格闘ACTが登場!!　武器の使用による一撃必殺の爽快感を重視し、また最先端のCG技術によって描かれたキャラクターも魅力的な期待作なのだ!!

GUILTY GEAR（仮）

ギルティギア

するハードコアバトル!!

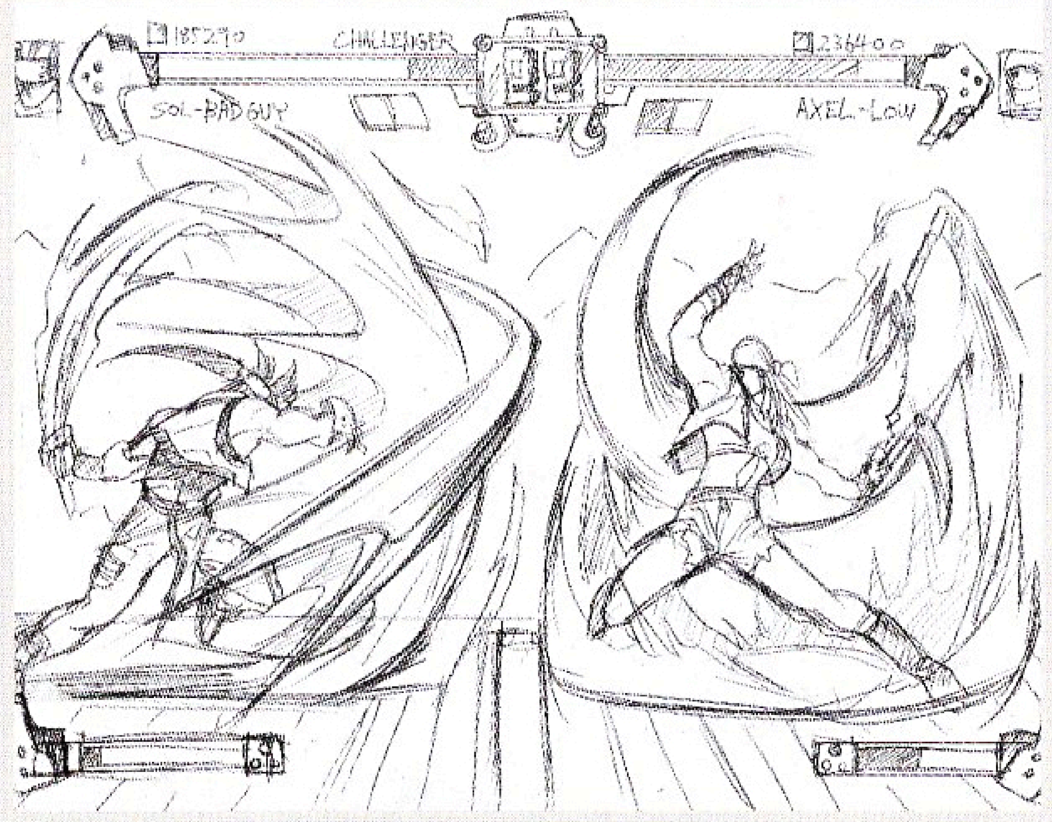
一撃必殺システムをひっさげPS格闘界に殴り込み!!

『ウィザーズハーモニー』のアークシステムワークスが、新たな超新作を発表!! その名も『GUILTY GEAR（ギルティギア）』。多彩な武器を持った戦士が激突する武器格闘ＡＣＴだ。このゲームでは相手の体力がＭＡＸでも、一撃のもとに斬り捨ててしまう新システムが目玉。超技とは別にこの一撃必殺技が全キャラにあるというのだ。もちろん詳しくは不明だけど、簡単に出せる技ではないだろうね。画面構成は、横画面で３Ｄタイプではないものの、バックステップ時や２段ジャンプ（キャラによる）では、上下左右にスクロールし、もちろんズームもするぞ。またキャラクター別のテーマ曲にはヘビメタ、ハードロック、パンクなど、熱い闘いに拍車をかけるサウンドが予定されているのだ。ＰＳに新たな新風を巻き起こすハードコアバトルに期待すべし!!

ディレクター
石渡氏



◀ゲーム、キャラクター、サウンドなどのデザインを手掛けているのだ。



◀画面構成のイメージラフ。このスクープのために特別に提供していただいたのだ。それにしても、画面下のゲージは何？

特徴的な世界設定!

今から二千年もの先の地球が、このゲームの舞台だ。その頃、世界文明は高度を極め、科学を離れた超自然的な力（火・水・風など）を利用して、地球の環境を気づかっていた。しかし、いくら文化システムが変わっても、人の争いは絶えることがなく、やはり世界規模の戦争が起きてしまった。この際に人類は遺伝子操作による生物兵器を大量生産する。それは人の姿や何かの動物を型どったものなどがあり、それらは「魔人」と呼ばれた。だがこの「魔人」の中に、強力な力と共に自らの意思を持つものが現れた。彼は「指導者（ジャスティス）」を名のり、全世界の「魔人」を配下にして人類に牙をむいた。魔人兵団の誕生である。これに対し、人類は対魔人組織「聖騎士団」を結成する。こうして人類対魔人の歴史「魔性大戦」が幕を開けた。大戦は三十年の歳月を要し、聖騎士たちの勝利に終わる。そして「指導者」は次元牢へと封じ込められる。これにより聖騎士団は一時解散したが、悪夢はその三年後に再び起こりつつあった。「指導者」を封じた結界が弱まったのか、ただならぬ妖気が世界を包みこんだ。事態を重くみた国連は「第二次聖騎士団」を結成するため、武闘大会を開き強力な戦士を集めることにした。その内容は、大会時における殺人や罪人の出場を認め、優勝者には望みのもの……国でさえをも与えるというものだった——。

▶GUILTY GEAR◀

このキャラクターが動くのだ!



最先端CG技術による新感覚のキャラクター

左のキャラクター写真を見て、「ポリゴン」と思った人がいるかもしれないけど、実はこれってポリゴンではないのだ。「シリコングラフィックス」というグラフィック性能に優れたマシンを使って描かれたキャラクターだ。例えばＳＦＣ『スーパードンキーコング』を思い出してもらえればわかると思うけど、ポリゴンでもドット絵でもない、立体的で非常に美しいグラフィックを描くことができる。ＰＳでも『土器王紀』で使われているので、本誌を参考に見てほしい。このゲームでは、その「シリコングラフィックス」で描いたキャラクターを取り込んで動かしていくのだ。もちろんこの写真は、まだ開発中のもの。「もっとずっと格好良くなります」（石渡氏）という状況なので、完成すればさらに美しいキャラクターが見られるぞ。また武器など動きが激しいものには、部分的にポリゴンが使用され、今までにない２Ｄバトルが展開されるのは間違いない!!



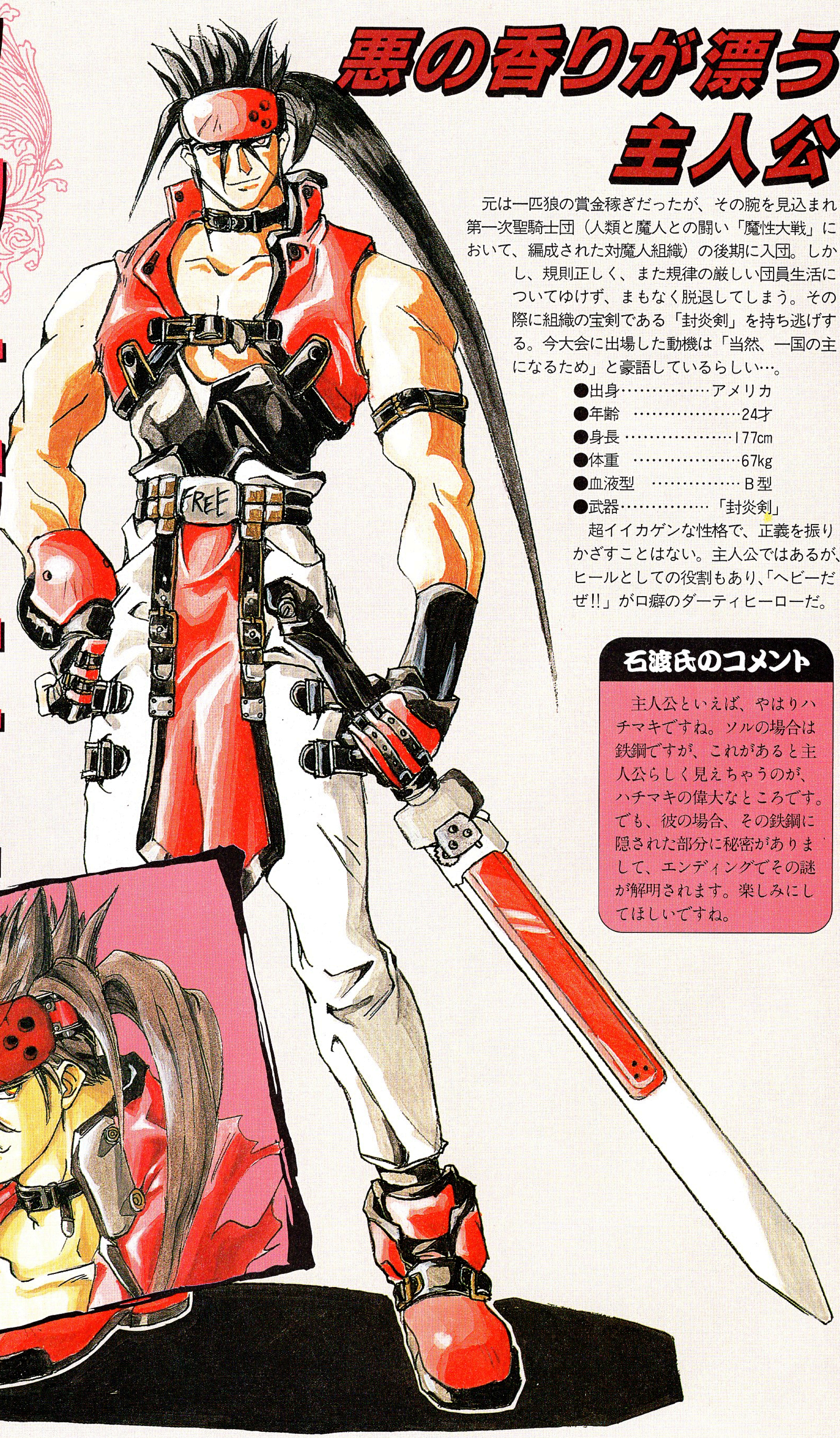
◀コワイ〜。でもこれは試験的に作っているもので、これがそのまま使われるわけはないでしょ（この画面も開発中です）。

GUILTY GEAR
ギルティギア（仮）

●ジャンル／格闘ACT●メーカー／アークシステムワークス
●発売日／'96年夏予定●価格／未定
●対応周辺機器／未定●多人数プレイ／可（2人）

キャラクターは10人！

ソル＝バッドガイ



悪の香りが漂う主人公

元は一匹狼の賞金稼ぎだったが、その腕を見込まれ第一次聖騎士団（人類と魔人との闘い「魔性大戦」において、編成された対魔人組織）の後期に入団。しかし、規則正しく、また規律の厳しい団員生活についてゆけず、まもなく脱退してしまう。その際に組織の宝剣である「封炎剣」を持ち逃げする。今大会に出場した動機は「当然、一国の主になるため」と豪語しているらしい…。

- ●出身……………アメリカ
- ●年齢 …………24才
- ●身長 ………………177cm
- ●体重 …………………67kg
- ●血液型 ……………B型
- ●武器……………「封炎剣」

超イイカゲンな性格で、正義を振りかざすことはない。主人公ではあるが、ヒールとしての役割もあり、「ヘビーだぜ!!」が口癖のダーティヒーローだ。

石渡氏のコメント

主人公といえば、やはりハチマキですね。ソルの場合は鉄鋼ですが、これがあると主人公らしく見えちゃうのが、ハチマキの偉大なところです。でも、彼の場合、その鉄鋼に隠された部分に秘密がありまして、エンディングでその謎が解明されます。楽しみにしてほしいですね。



五月（メイ）

愛に生きる女のコ

石渡氏のコメント

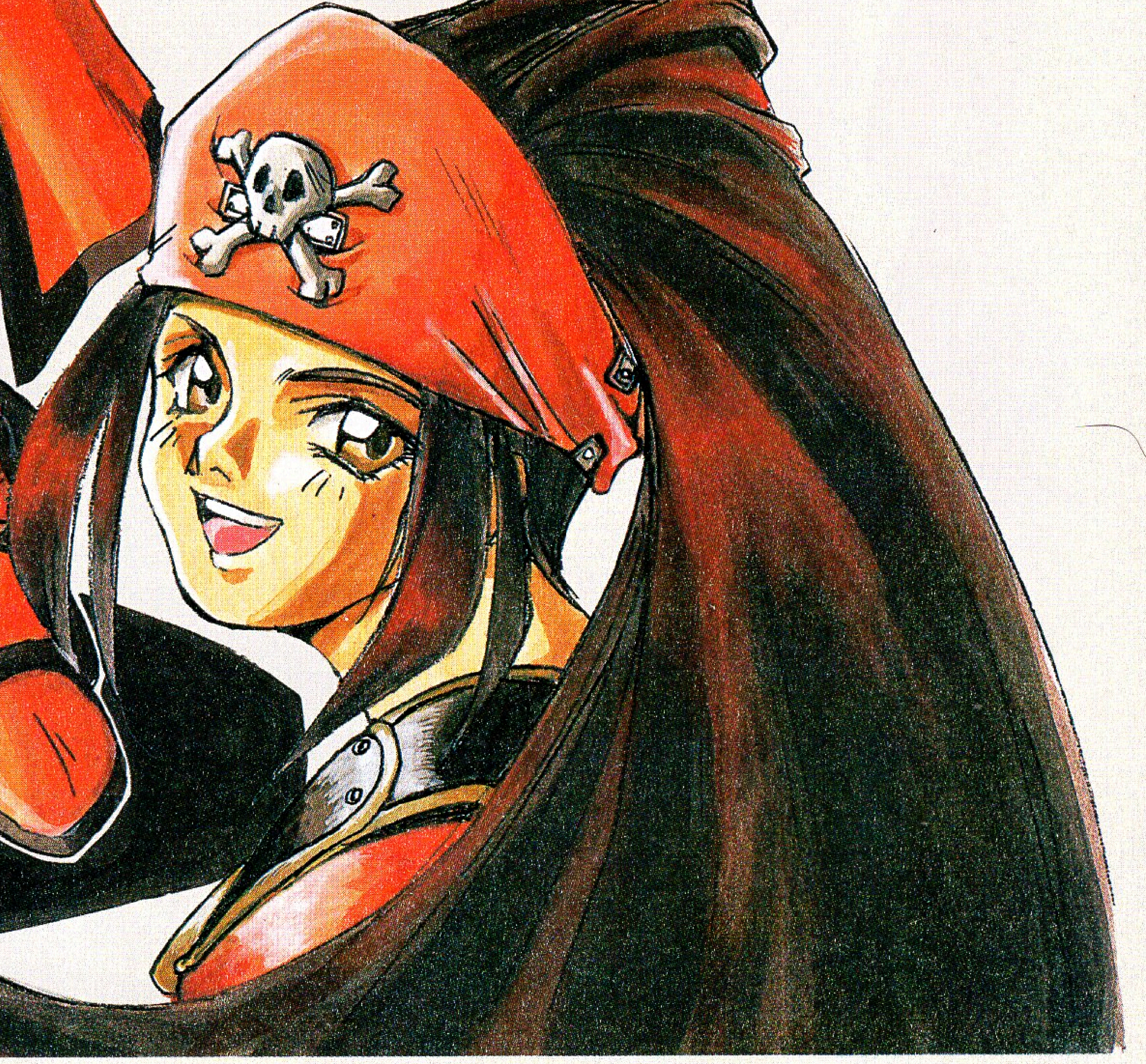
五月（メイ）は、力強いイメージを持った女のコとして、デザインしました。オノをもたせて、男まさりな部分を強調してみたのですがどうでしょうか。でも、彼女は実は、一人の男（ジョニー）に首ったけ、という一途な女のコらしい面も持っています。その点で露出も控え目にしました。



8才の時、両親に死なれ、他に身内のいなかった彼女は、「快賊」のジョニーに拾われる。最初はイヤがっていた彼女も、ジョニーと共に旅をしているうちに、彼の内面的な優しさに気づき、次第に心を引かれ愛情を持つようになっていく。しかし、ある日突然、ジョニーは警察に逮捕されてしまう。彼女は優勝してジョニーを釈放してもらうため、大会への出場を決意する。

●出身…………不明●年齢…………18才●身長…………154cm
●体重……47kg●血液型……B型●武器……「ボヘミアン」

ジョニーのことしか頭にない、登場キャラの中でも1、2を争う怪力の持ち主。まさに、愛のバカぢから!!　ボヘミアン（オノ）を振り回す彼女は、果してどんな技を持っているのか楽しみだね。そして、うらやましいジョニーとは、いったいどんな野郎なのか？

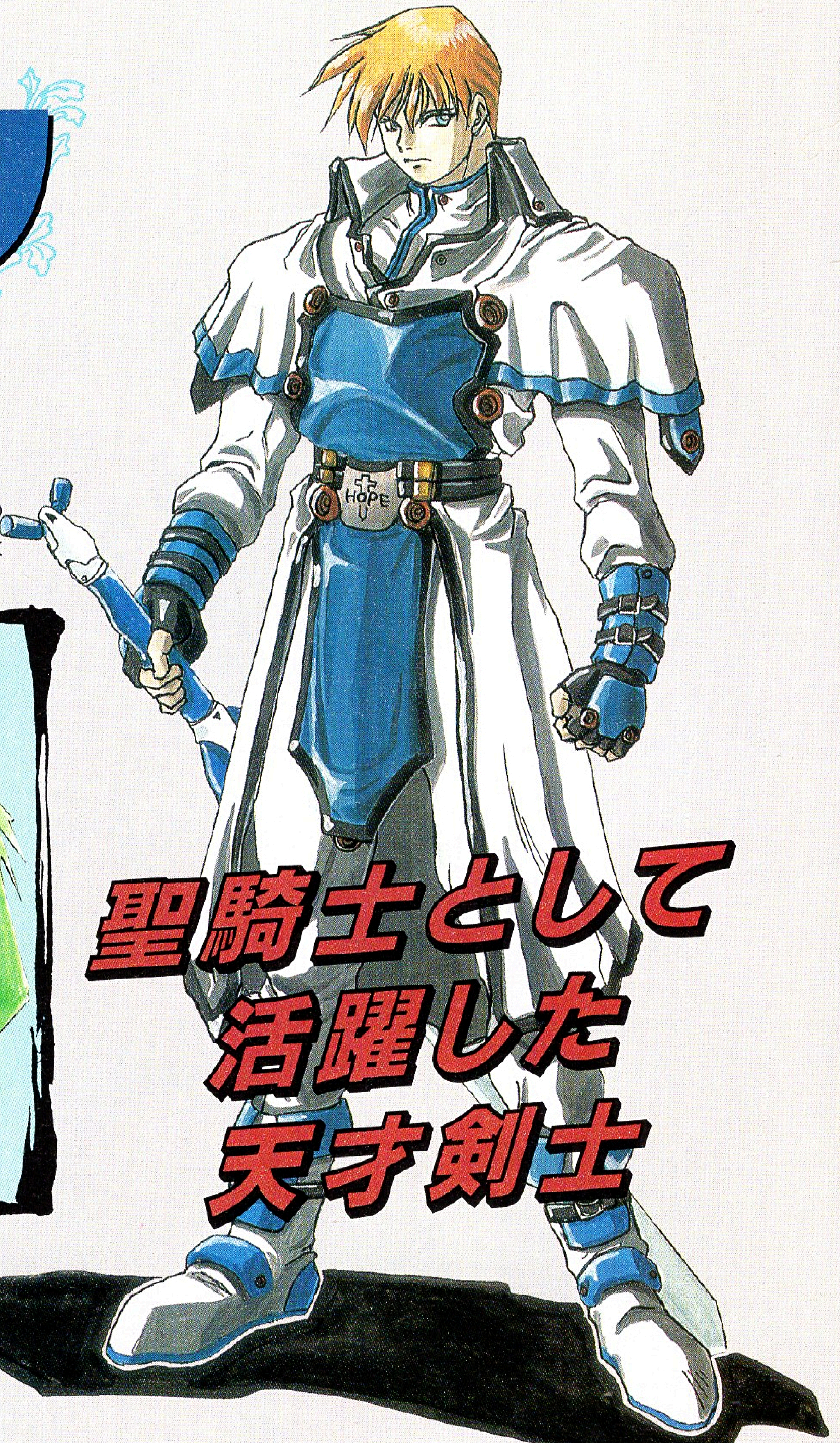


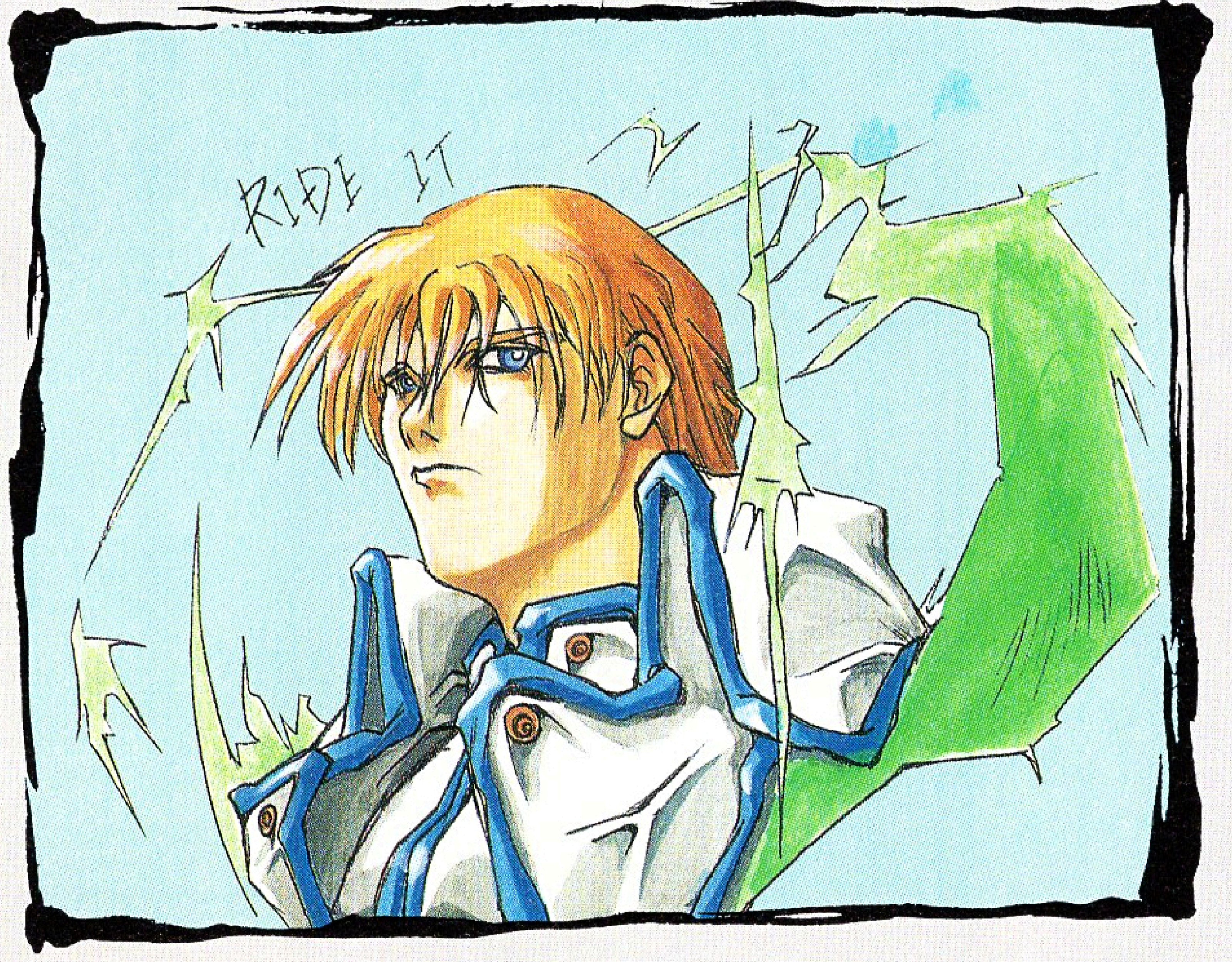
カイ＝キスク

弱冠１６才の時に、第一次聖騎士団のリーダーとして後期に活躍した若き天才剣士。ソルが騎士団を脱退してからは、事実上団員の中では、Ｎｏ．１の実力者となり、団の宝剣「封雷剣」とその奥義を授かった。今回の出場動機は、罪人の出場も許し、そして殺人をも認めた大会の真意を探ること。正義感が強く、きまじめな彼には、この大会の開催が不審に思えたのだ。しかし騎士団時代につけられなかったソルとの決着を果たすことも、彼が出場する大きな目的だった。

●出身…………ロシア●年齢…………21才
●身長…………174cm●体重…………64kg
●血液型…………A型●武器……「封雷剣」

主人公のソルがヒールとしての性格を持っているのに対し、カイは正義感に厚いベイビーフェイスだ。若くして天才剣士と呼ばれ、ソルのライバルとして登場するだけに、２人の闘いは必ず熱いものになるだろう。

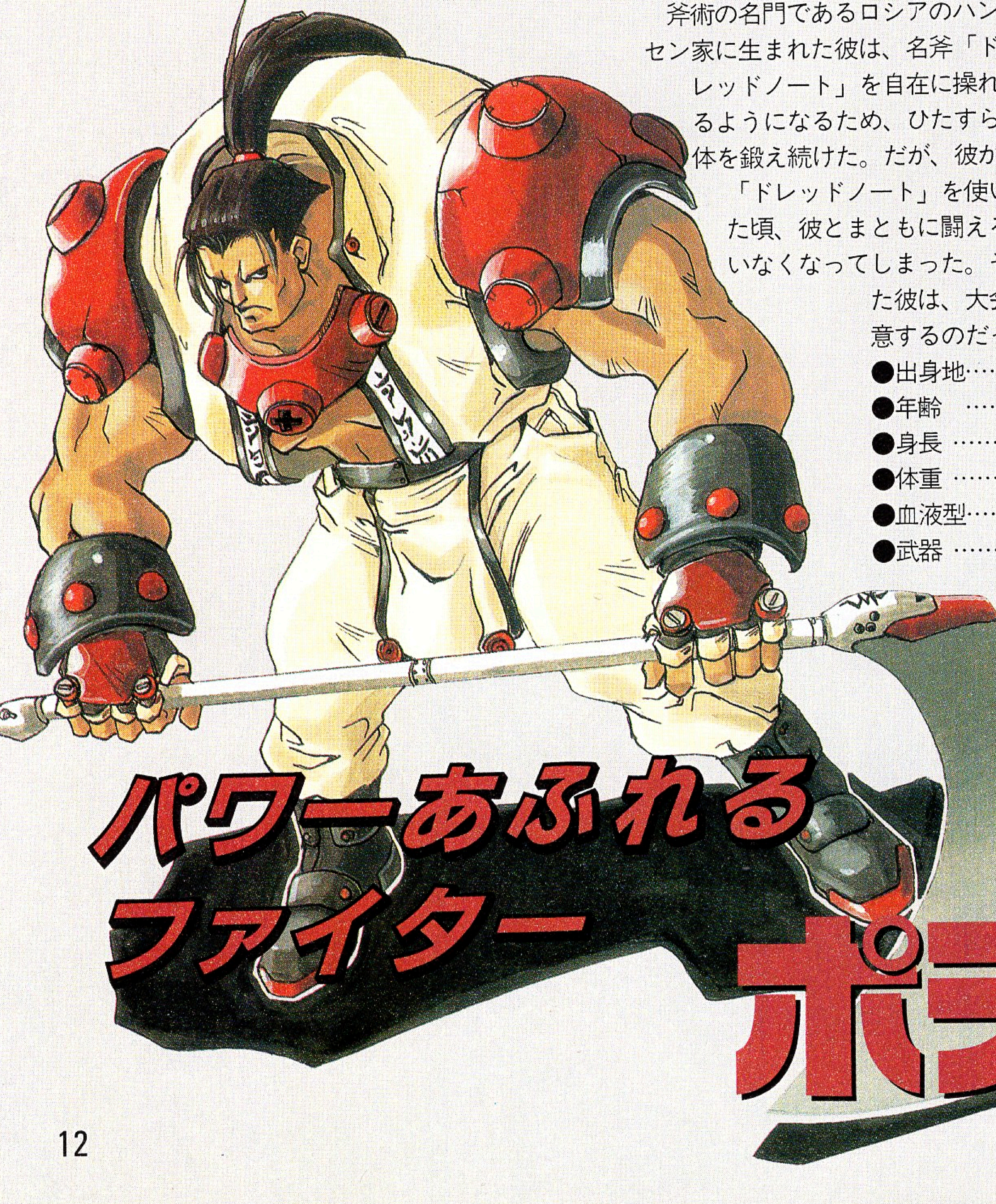




石渡氏のコメント

カイは正義にこだわる、いわば正統派のキャラクターです。そのためデザインでは、主人公のライバルとして対局的な性格を出すのに苦労しました。聖騎士として組織に属していたので、コート系のコスチュームを着せ、彼のきまじめな性格を表現してみたのですが……。

聖騎士として活躍した天才剣士



斧術の名門であるロシアのハンセン家に生まれた彼は、名斧「ドレッドノート」を自在に操れるようになるため、ひたすら体を鍛え続けた。だが、彼が「ドレッドノート」を使いこなせるようになった頃、彼とまともに闘えるファイターは身近にいなくなってしまった。そのことに不満を抱いた彼は、大会に出場することを決意するのだった……。

●出身地……………………ロシア
●年齢……………………………34才
●身長……………………………197cm
●体重……………………………123kg
●血液型……………………………B型
●武器………「ドレッドノート」

愛国心あふれるマッチョなファイターだ。

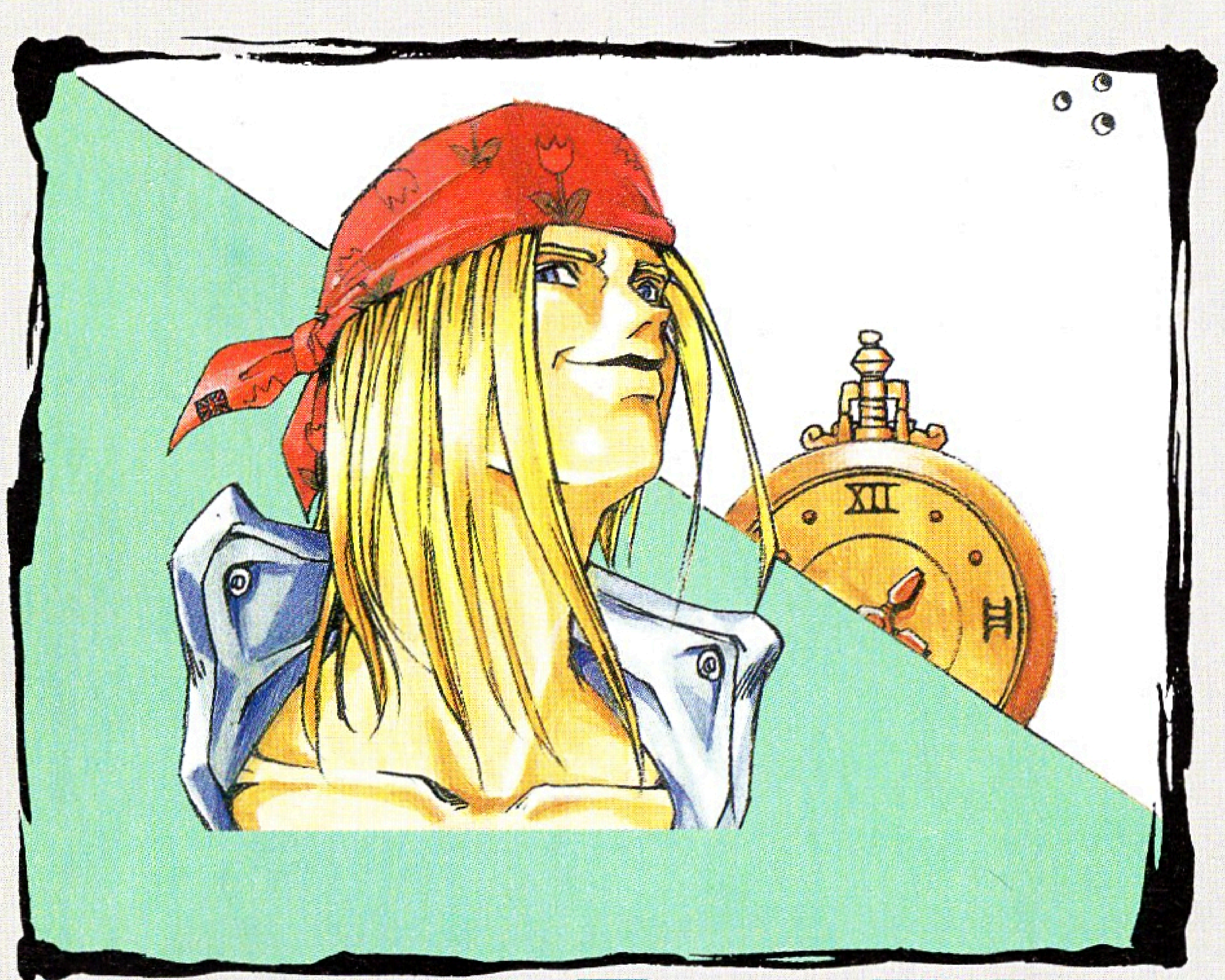


石渡氏のコメント

大きなキャラクターなので、重々しいイメージの中にも、男っぽいカッコよさを感じていただければ、うれしいですね。わりと簡単にできたキャラですが（笑）。

パワーあふれるファイター

ポチョムキン



アクセル＝ロウは、過去の世界の人間である。スラム街に育った彼は、その環境によってストリートギャングになったが、人を殺すことを嫌う性格なので格闘技によってナワバリを広げていた。そんなある日、ふとしたことでこの時代にタイムスリップしてしまった。〝優勝すれば何でも望みをかなえてくれる〟という武闘大会のことを知った彼は、元の時代へ戻してもらうため、大会会場へと向かうのだった。

●出身……………………イギリス（過去）
●年齢　…………………………26才
●身長　…………………………178cm
●体重　……………………………76kg
●血液型……………………………Ｂ型
●武器……「鎖ガマのベティ」

石渡氏が「最初に考えた」という鎖ガマの特殊な技に期待。

アクセル＝ロウ



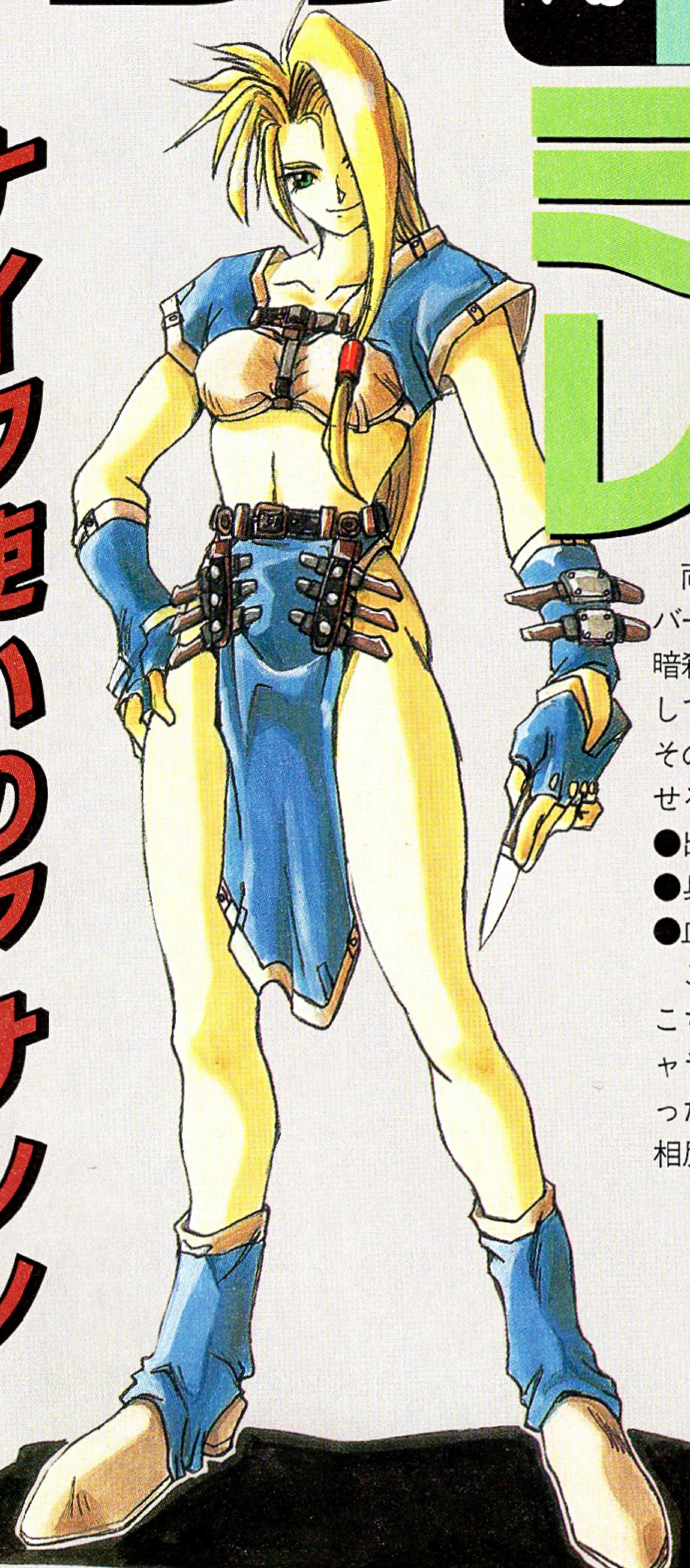
鎖ガマの2刀流

石渡氏のコメント

一番思い入れのあるキャラで、技も一番先に考えてしまいました。鎖ガマの表現を画面上でどう演出するか、がカギですね。もちろんこの２本の鎖ガマに左右される闘いになると思います。

ミリア＝レイジ

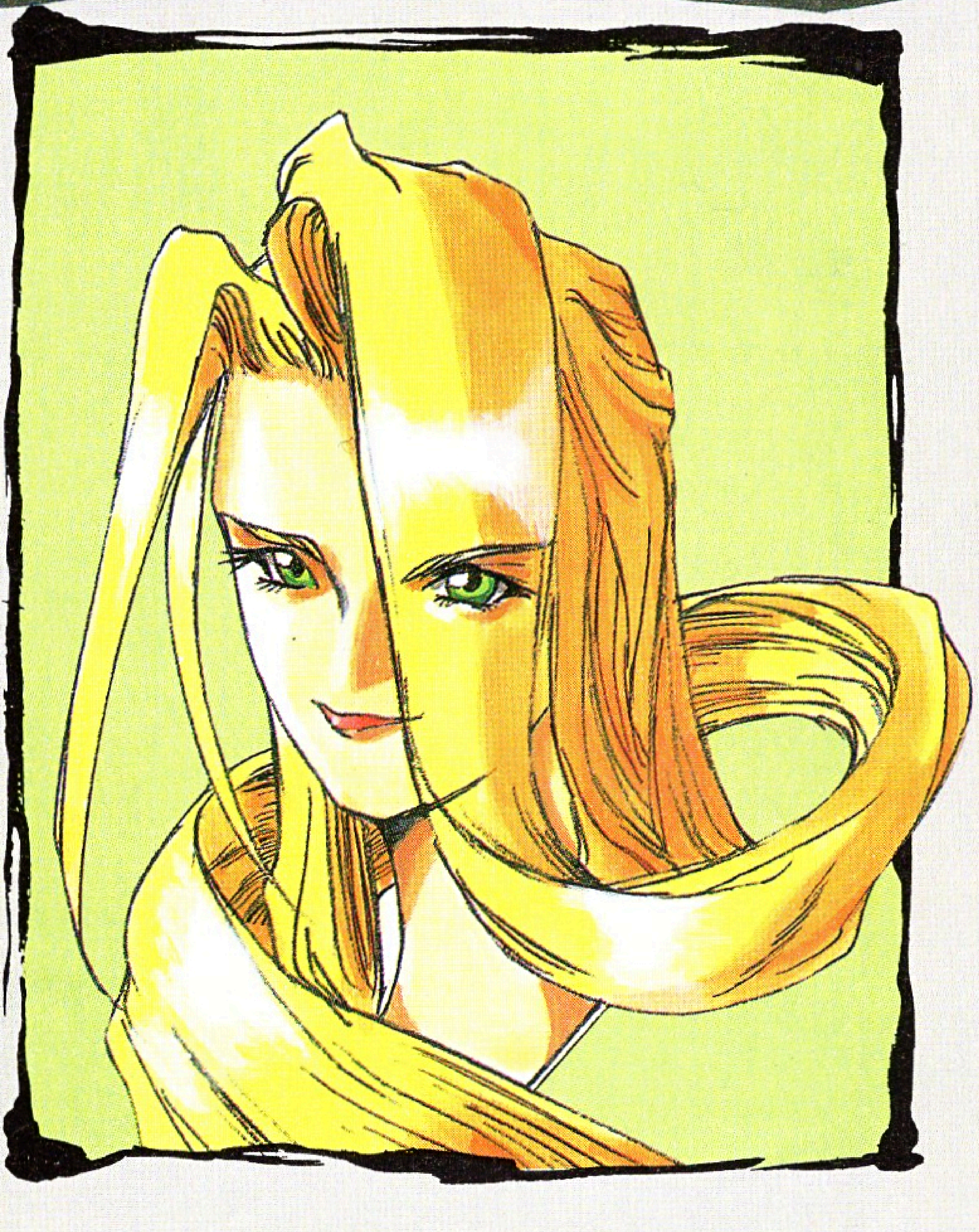
ナイフ使いのアサシン



両親を幼い頃に亡くした彼女は、アサシンのメンバーとして暗殺組織に引きとられ、ナイフを使った暗殺術をたたきこまれる。しかし組織のすてゴマとして使われた彼女は、ある暗殺計画のさなかに逃亡。その後はカタギになることを誓い、一生遊んで暮らせる逃亡資金を稼ぐために、大会へ出場する。

●出身　………ブラジル●年齢　………………21才
●身長　…………169cm●体重　…………………？
●血液型　…………ＡＢ型●武器　…………ナイフ

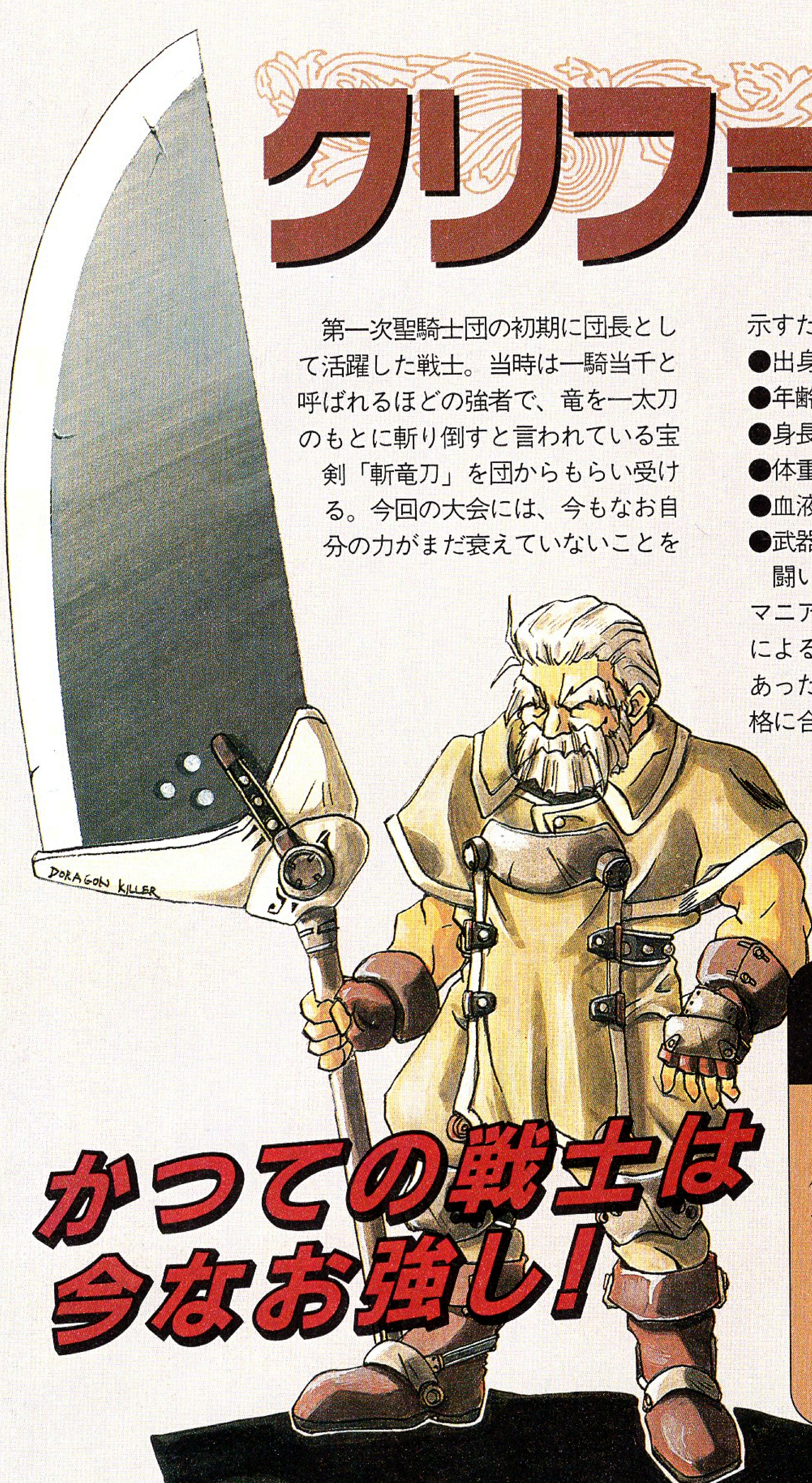
このゲームには２人の女性キャラが登場するが、こちらはいわゆるタカビー・女王様・お姉様系のキャラクターだ。でも彼女自身は気の強さと弱さを持った２重人格者。暗い過去とお気楽な出場理由が、相反する不思議な魅力を放っている。



石渡氏のコメント

暗殺者という設定上、最初は黒い服だったのですが女王様ぽいところもあり、ちょっと明るめにしました。でも実は暗い過去を背負っているので、クラサがにじみ出たセリフがあるかも。

クリフ＝アンダーソン



第一次聖騎士団の初期に団長として活躍した戦士。当時は一騎当千と呼ばれるほどの強者で、竜を一太刀のもとに斬り倒すと言われている宝剣「斬竜刀」を団からもらい受ける。今回の大会には、今もなお自分の力がまだ衰えていないことを示すために出場する。

●出身地 …………スイス
●年齢 ……………68才
●身長 ………………157cm
●体重 ………………47kg
●血液型 ……………O型
●武器 …………「斬竜刀」

闘いに身をゆだねる温厚なバトルマニアという設定のクリフ。石渡氏によると、斬竜刀はもっと長い剣であったが、彼には長すぎたため、体格に合わせて柄の部分を途中で切ったもの。また、その年齢のためにダッシュなどのすばやい動きができなくなっている点も、ジジイキャラならではの設定といったところか。

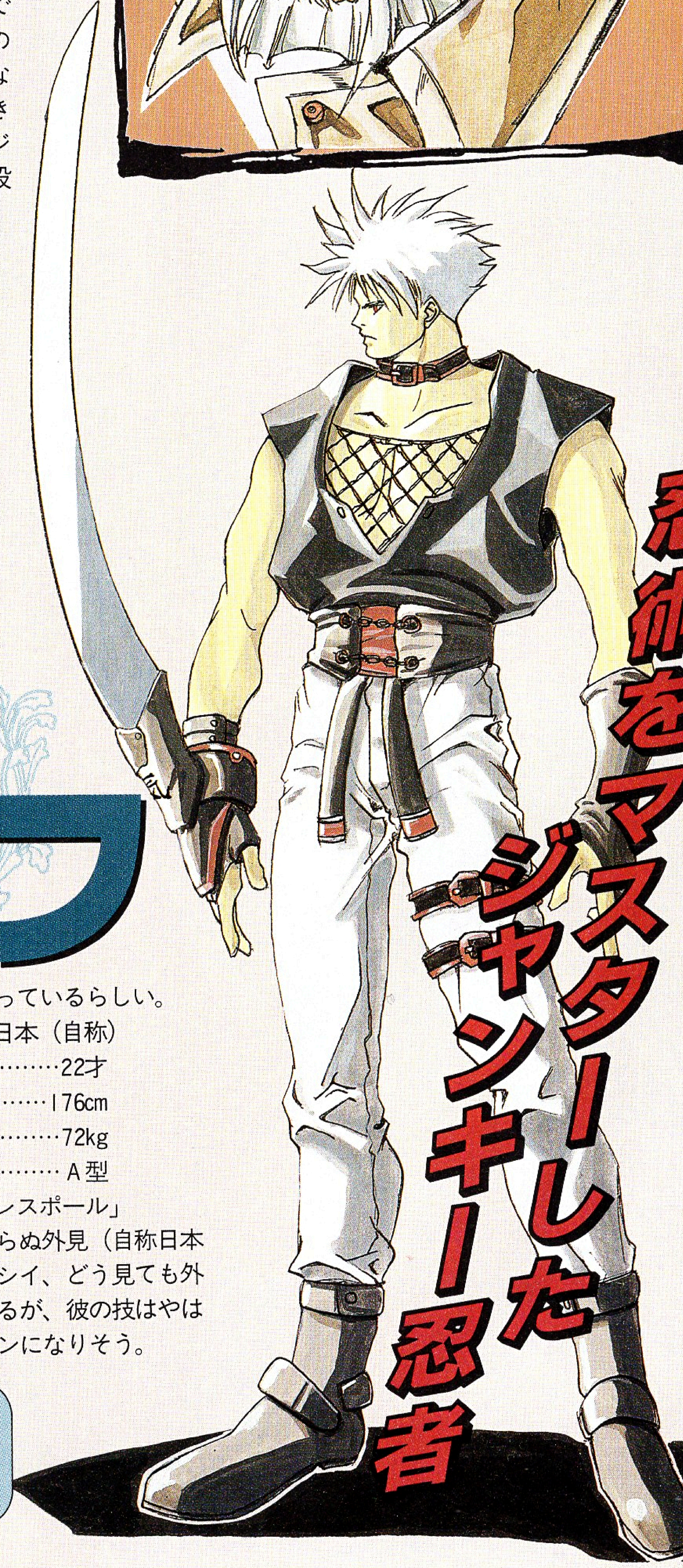


石渡氏のコメント

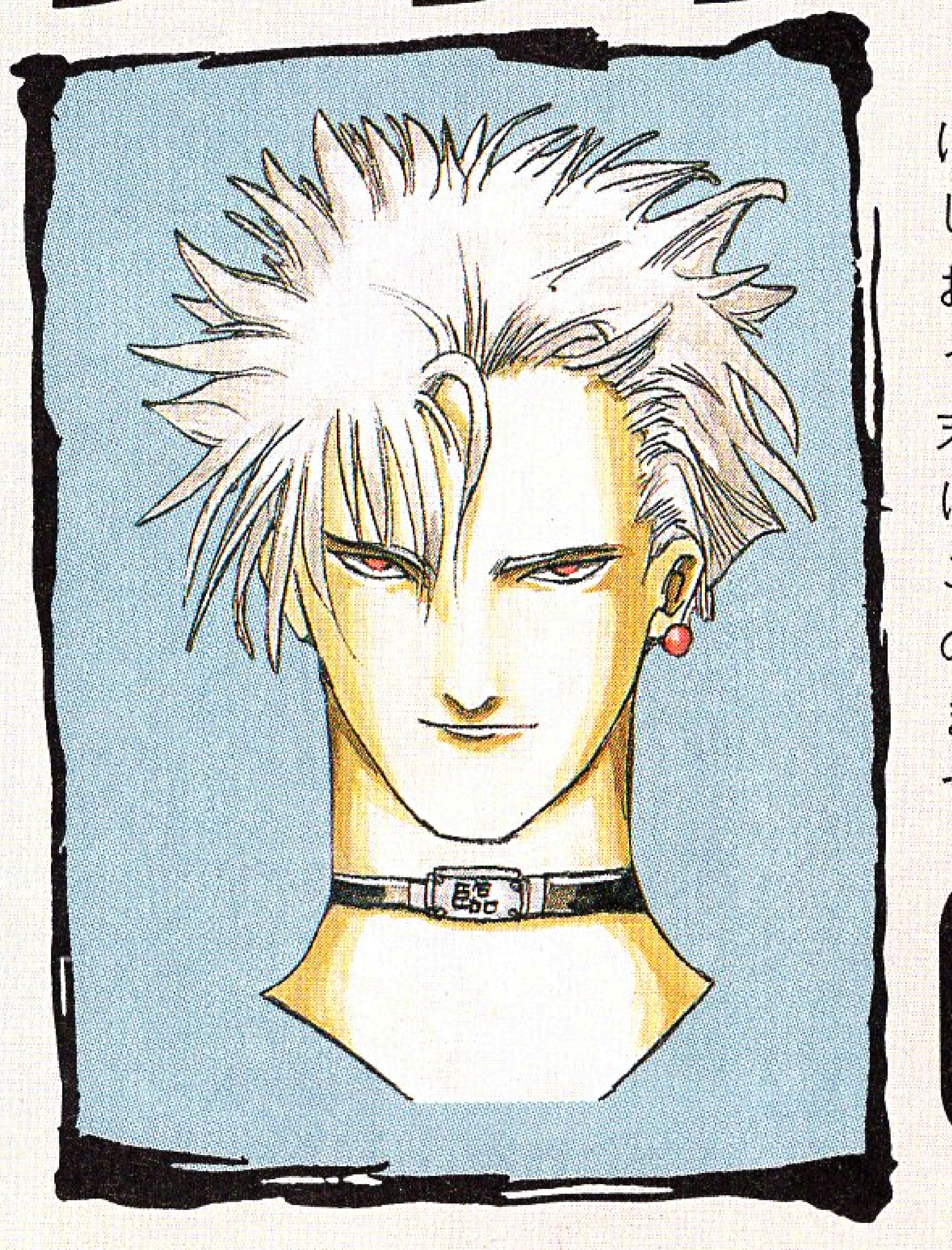
ジジイが好きなプレイヤーのために、作ったキャラクターです。ジジイだけにダッシュやバックステップができないので、心ゆくまでジジイなプレイを楽しんでください。

かつての戦士は今なお強し！

チップ＝ザナフ



忍術をマスターしたジャンキー忍者



少年期にドラッグにハマった彼は、バイヤーとしてマフィアに属していた。しかし彼自身も麻薬におぼれ仕事ができなくなってしまう。組織は用済みになった彼を始末しようとしたが、ある忍者に助けられ、その忍者の元で修行することになる。そんなある日、師匠の忍者がマフィアに暗殺されてしまう。怒りに震えた彼は、組織をつぶすべく、この大会で優勝し大統領の座を狙っているらしい。

●出身 ……日本（自称）
●年齢 ……………22才
●身長 ……………176cm
●体重 ……………72kg
●血液型 …………A型
●武器 …「レスポール」

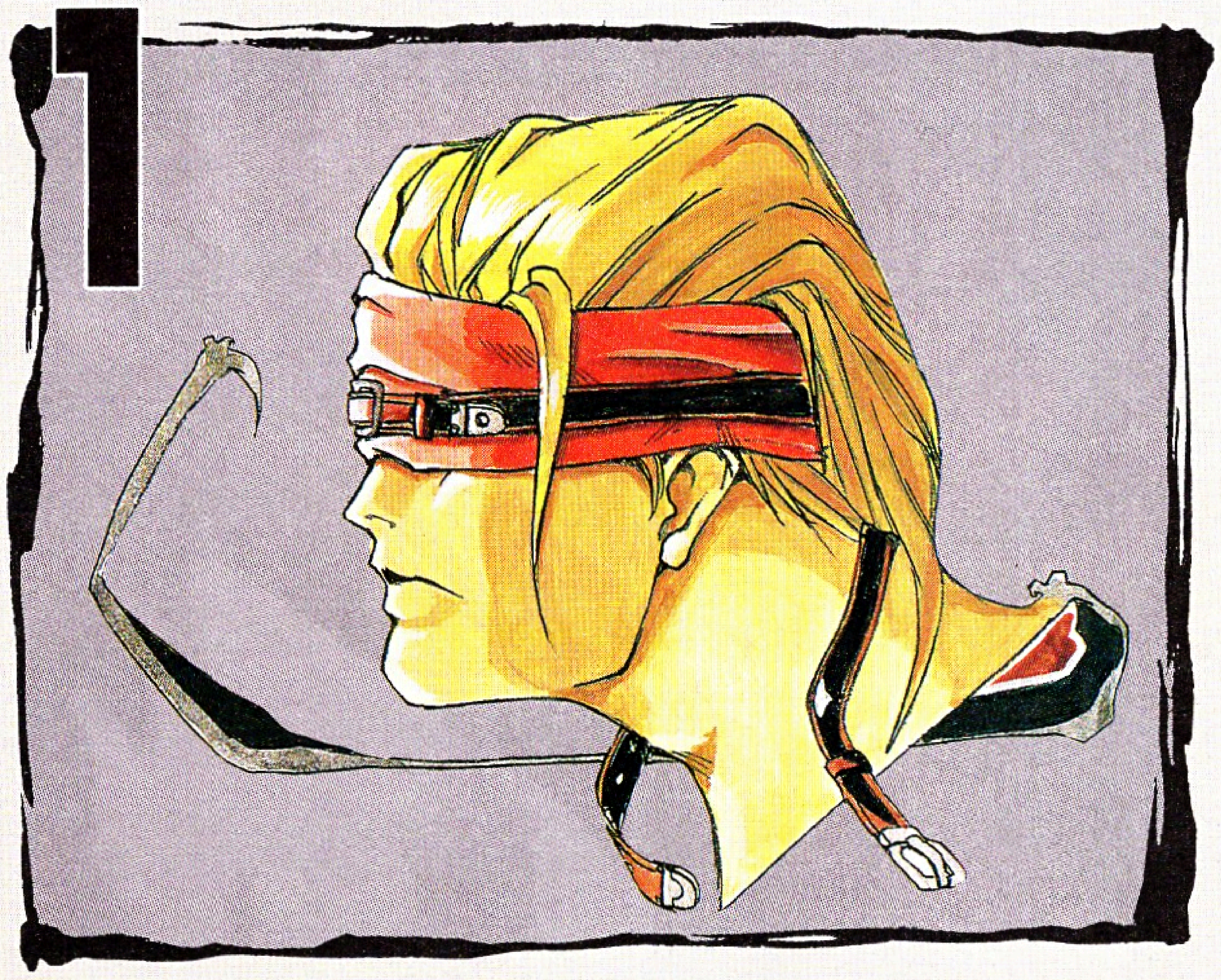
忍者らしからぬ外見（自称日本人てのがアヤシイ、どう見ても外人）をしているが、彼の技はやはり忍術がメインになりそう。

石渡氏のコメント

ヤンキーでジャンキー、しかも自称日本人を名のるアメリカン忍者という妙な設定です。ちなみに師匠の忍者は、「ユウジ」という名です。



ザトー＝ONE 1



自らの視界と引換えに、影を自在に操る禁呪を使うアサシンのリーダー。目は見えなくとも、周囲の気配で物の動きを察知できるほど敏感な感覚を持っている。しかし、ある暗殺計画で仲間の裏切りに会い、計画は失敗してしまう。それにより彼は逮捕され、牢の中で生活するハメになってしまった。罪人の出場も認められている今大会のことを知った彼は、優勝して免罪を求めるらしい。

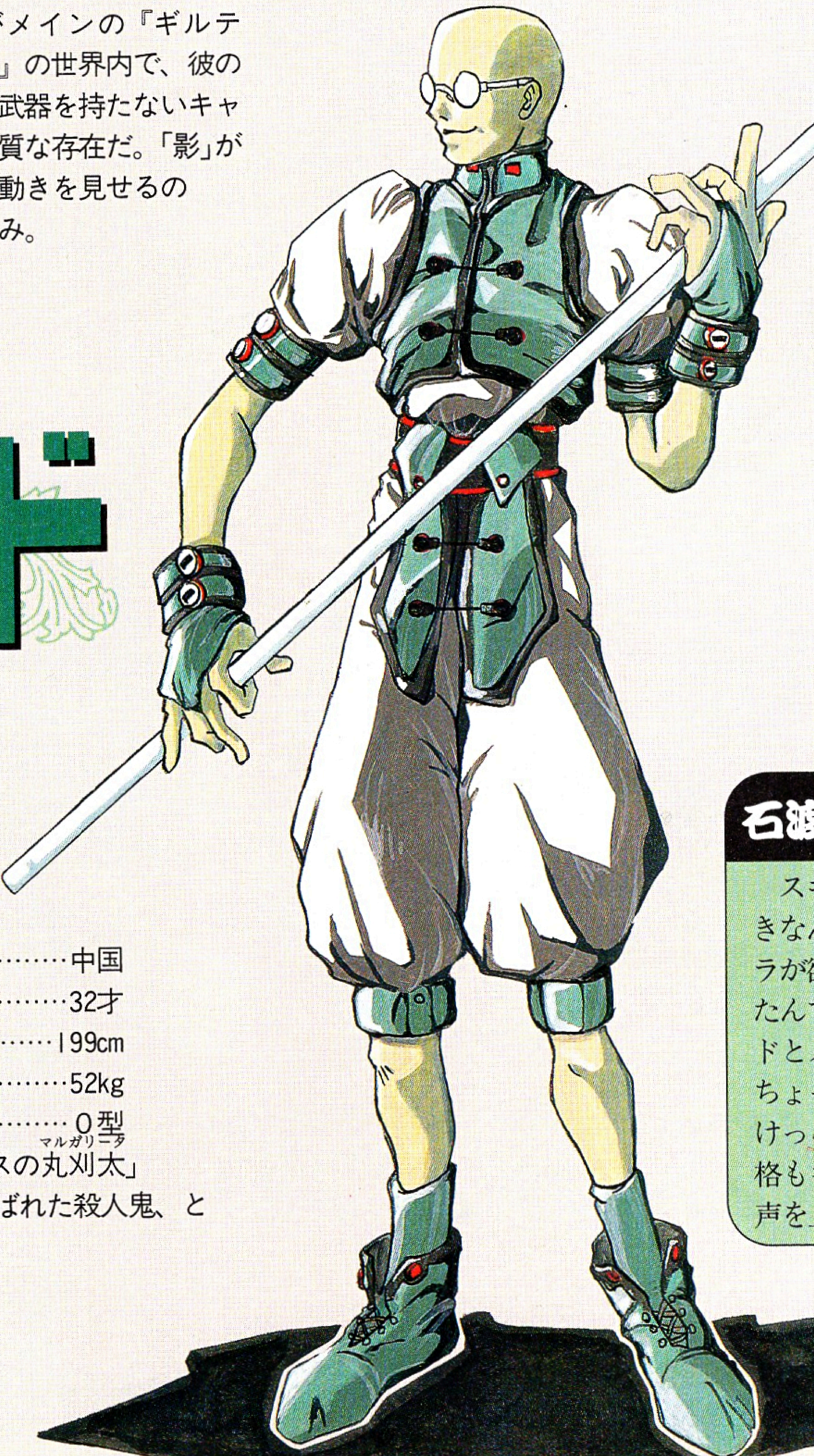
●出身……………スペイン ●年齢……………25才
●身長 …………… 182cm ●体重 …………83kg
●血液型…………… ＡＢ型 ●武器……………「影」

影を操る暗殺者

登場キャラの中では唯一、武器を持っていない異質なキャラクター。しかし自在に操ることができる「影」により、技のバリエーションも多彩なものになりそうだ。このゲームは武器による時代劇のような爽快さが魅力の一つだが、「影は魔法みたいなもの」（石渡氏）というファンタジーの要素も合わせ持っている。武器格闘がメインの『ギルティギア』の世界内で、彼のような武器を持たないキャラは異質な存在だ。「影」がどんな動きを見せるのか楽しみ。

石渡氏のコメント

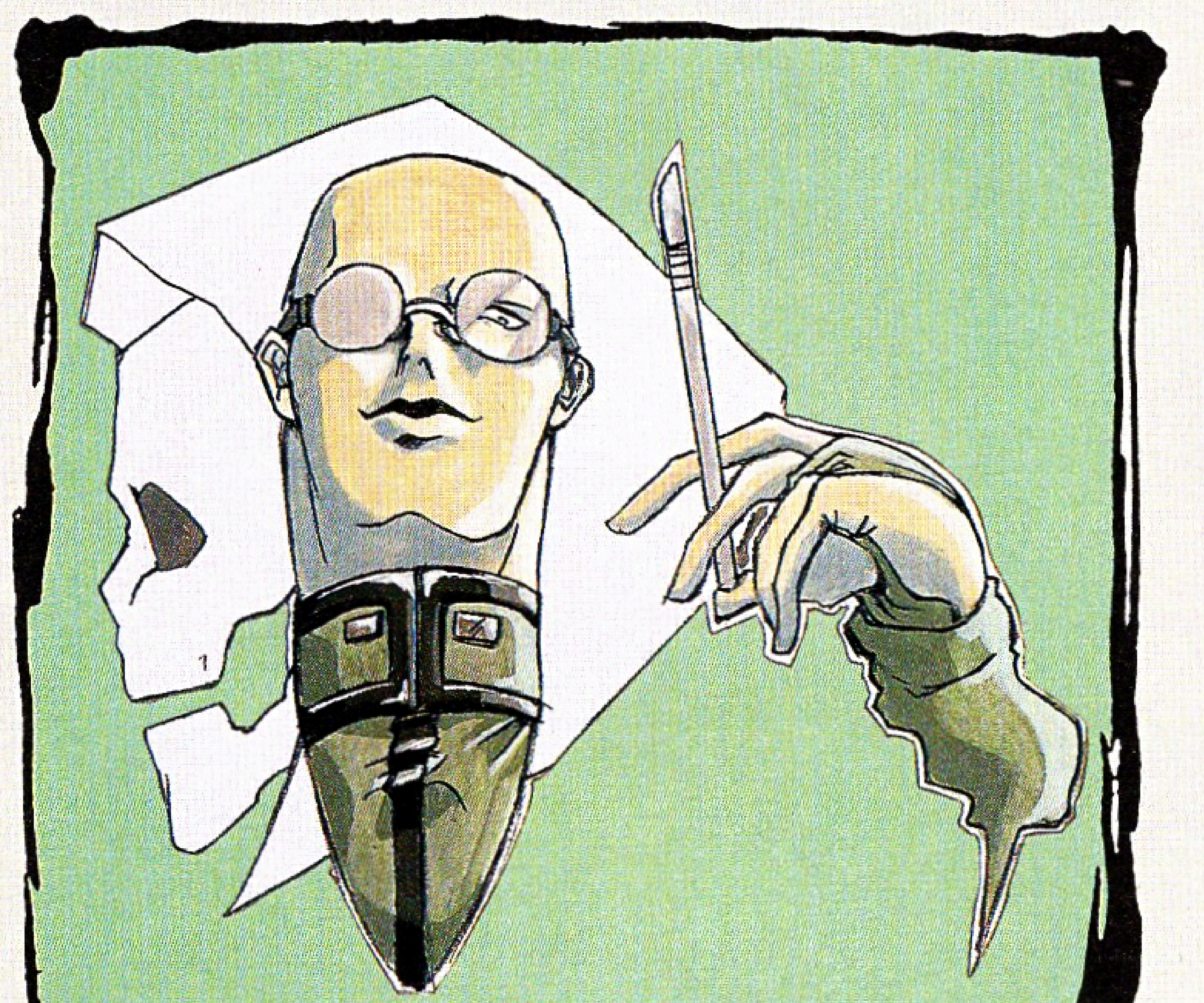
「影」を操るキャラクターを作りたかったので、武器を持たせないようにしたのですが、妖しいムードを表現するのに苦労しました。でも結果的に、かなり気にいっているキャラクターですね。



狂気の天才外科医

Dr.ボルドヘッド

かつては善良な心を持ち、世界最高とまで呼ばれるほど優秀な外科医であった。しかしある日、盲腸にかかった一人の少女を誤って死なせてしまい、自分のミスが許せず気がふれてしまう。殺人鬼と化し人々を恐れさせた彼は、犯行後まもなく捕まってしまうのだが、国連からなぜか強制的に今大会への出場を命じられてしまうのだった。



●出身 ……………………中国
●年齢 ……………………32才
●身長……………………199cm
●体重 ……………………52kg
●血液型 …………………O型
●武器 ……「巨大メスの丸刈太（マルガリータ）」

昔は天才外科医と呼ばれた殺人鬼、という設定がヤバそう。エンディングでは、彼が出場した理由も描かれるはず。

石渡氏のコメント

スキンヘッドって、好きなんですよ。ハゲキャラが欲しくて、作ってみたんですが、スキンヘッドとメスの組み合わせがちょっとアブナイ感じでけっこう好きですね。性格もキレてて、妙な笑い声を上げます。